

mol-up (モルアップ)

プレイ人数 4人 プレイ時間5分

手札をルールに従って出していき、他のプレイヤーよりも早く手札を無くす、もしくは手札の炭素数の合計を少なくすることを目的としたゲームです。

【ゲーム開始前の準備】

1. 「分液ロート」、「蒸留」、「実験室の整頓」、「実験台の整頓」の Labo カードは使わないので、箱に入れておく。
2. 各プレイヤーは、山札から分子カード6枚 Labo カード3枚とる。

【ゲームの流れ】

1. じゃんけんで勝ったプレイヤーから、自分の手札から分子カード1枚選び、分子カードを表に向けて出す。
2. 次のプレイヤーは、その分子カードの分子量よりも大きい分子カードを出す。(時計回りで進める)
3. 分子量が大きいカードを持っていない場合、もしくは出せるカードがあるけれど出したくない場合は、パスを宣言する。
4. 全員がパスを宣言した場合、最後に出したプレイヤーが新たに手札から1枚選んで出す。
5. 手札の分子カードが無くなったプレイヤーが勝ちとなる。

【Labo カードの使用について】

1. 各プレイヤーは分子カードを出す際に Labo カードを2枚まで使用できる。
2. Labo カードは、【自分の手札の分子量を増やすことができる】他に、次のプレイヤーから【沸点がより高いカードを出す条件に変更する】カード、次のプレイヤーに【山札からカードを2枚取らせる】カードなどがある。カードの特殊効果については、右のとおり。

【Labo カードの効果について】

・分子量を増やすことができる Labo カード

Labo カードの反応に必要な分子カード (Labo カードの属性アイコンと同じアイコンをもつ分子カード) とともに出すことができる。

- | | | | | | |
|----------------------------|------------------|---------------|----------|----------|---|
| 【メチル化 | 分子量 +14 | 】 | 【ニトロ化 | 分子量 +45 | 】 |
| 【酸化反応 | 分子量 +15 | 】 | 【付加反応 | 分子量 +160 | 】 |
| 【置換反応 | 分子量 +35 | 】 | 【付加反応(水) | 分子量 +18 | 】 |
| 【付加重合(2枚のアルケン or ブタジエンが必要) | 分子量 +5000 | 】 | | | |
| 【エステル化(アルコール+カルボン酸が必要) | 分子量 2つの分子量の和 -18 | 】 | | | |
| 【分子間脱水縮合(2枚のアルコールが必要) | 分子量 2つの分子量の和 -18 | 】 | | | |
| 【硫酸 | 分子量 -18 | ただし二重結合を生成できる | 】 | | |

・特殊な効果を持つ Labo カード

①薬品管理 (薬品の購入)

このカードを出したとき、左となりのプレイヤーは、山札から分子カードから2枚とる。

②蒸発濃縮 (エバポレーター)

このカードを出したあとの次のプレイヤーからは、沸点のより高いカードをだしていく。ただし全員がパスを宣言したあと、この効果は消える。

③再実験の言い渡し (実験ノート)

このカードを出したとき、自分の手札を全て捨て、同じ枚数分の分子カードを山札からとる。

④ケミカルリサイクル (原料の回収と利用)

このカードを出したとき、場に出されたカードから1枚選び、手札の1枚と交換して出すことができる。



— 化学で遊び、楽しく学ぶ —

ChemiStrategy

©Chemi-Shiru